和漢朗詠集卷下

雜

風　雲　晴

曉　松　竹

草　鸛　樹

管絃付答妓　文詞付答文　酒

山 付山水　水 付漁父　禁中

古京　古宮 付故宅　仙家 付居士隱偏

山家　田家　隣家

山寺　佛事　僧

閑居　眺望　錢別

行旅　庾申　帝王 付法室

親王 付王孫　恙相 付桃改　將軍

刺史　諏吏　王昭君

妓女　趙女　老人

受友　懷舊　述懷

夢賢　稅　憲

無常　白

いろはに道を

雜風

春風晴雪庭花樹秋雨偸雲石上苔 韓偈

入松易亂欲惱明君之視流水不 紀納言

歸庭遊列子之家

漢主多中帝不至徐君掾上扇猶然 保胤

班姬裁扇庭禱尚列子為車不去也 慶保胤

わきりせ乃ゐくりつけくもとゆゑなく
たゞさの紫ゐらハをとはしてまし
かのくとわり河什れ月の月かけふ
りこらるきまろと山おろしのかせ

中務

信明

雲

竹斑湘浦雲凝鼓聽之雖風

張讀

去秦鹿月光映簫之地

山遠雲埋行宮迎松雲風破掃人夢

純齊名

貴日望雲心中紫有時見月和正閑

元眞

漢諸遊秦之朝望礙孤峯之月

江以言

陶朱禪越之當服泥丸湖之綰

都在中

哲備時適非戴君兒偷復濡業生私

都在中

漢帝誇能迷處之淮王雞起先留連

以言

よそりおこ見てやこみるむかつきや

そりまの山岩ゐ乃しゐ

讀人不知

晴

煙消門外青山老落雲窓紫綠竹低

夢龍丹

紫蓋ゝ巖嵐踈雲收七百里外 藤惟成
曝布ゝ泉波冷月沈四十尺餘
雲消碧落天屬解風動清滌水高歌 都良香
叢鶴省巢枝夢春孤帆連水雲消 菅三品
曲嵩鶴林目高覓飲渭訪暮雲霧 江以言
かとゝんとれみとりの雲をはけ傳
わりりなりおりふあそふしゆふ
曉

佳人安餝於晨粧親交鐘動遊 賀豐
子於約お殘月無谷鶴鳴
幾行南去之鴈一片西傾之月 謝觀
題征路獨りの子掛店程扁注
孤城百戰ゝ帥胡笳未歇
叢粧金屋之中青蠟正畫紙 同
寫瓊筵之上紅燭寒餘

不聲雲海物明時一點心燈含滅時
あらけきのなかるまじうはしたる霧の
とまそまひし貴なうれさましや　貫之

杠

但有夏杠當砌下更無一事不見中　白

青山有雲稍杠性若落雲稍鶴心　許渾

手丈隨雲應喩秘密扉之遊百步　紀納言

飛風雅破若出之射

九夏三伏之暑月竹合鶴年風

雲冬素雲之寒朝杠新君子之德

十八日榮霜降霧一千年逸雲中源　順

合雨岸杠天更霧燒秋林葉火雲定　江相公

とこはなるさつのみかりとくるくれ事

いまひとしかの矢さけり計字　宗千

まれ君くをひさしをなりぬすみよし此

さしのひ兎さつくよんぬらん

あまくさるわらんかをのあひをむ　安清

杠を人ハひさしをみうしの雲

竹

煙葉蒙蒙後夜風枝蘭調名杜弓 白

院藉嘯場人半月子猷看來鳥栖煙 五章孝標二

晉詩共泰軍王子猷載稱之春 篤茂

太子宮宮白樂天雲為君友

遊華東袖鳳笙聲相繞聲間歌 前中書王

よふかれはこのもしけきくれ竹の

うきふしこそひとのなく 讀人不知

草

沙頭雨深斑草水面風絲裂之沙

西施初今何在春風百草頭 元稹

飄草處空草滋初渺之巻 直轉

蘿深鎖雨溼原窓之樞

草久曾晴初萬復馬蹄暖漸綠雲 後江相公

蓋山有馬蹄狂落傳野無人路漸滋 保儀

かのとりにまなりとれとたりかまり花
ありつも君にきまさんを御くさふとん
れかあらず我のまりのしたまおいぬまは
こまもをさめをりる人りかしを
屋かはともくさハをしなむりをり郎を
そくとろのりかまりせくる年

重之

忠見

鶴

嫗少人白踏高位鶴有家行恐利

賈嶋

日夜霞邦家業能家屋

同李陵之入胡但見異類似屋

皇甫曾

原之在楚家人皆醉

於來枕上子孫鶴乾落室中老學

白

清峻新於柏鶴安光一點行間雄

白

雙花庭前花落處數聲能上月明時

十九劉禹錫

鶴歸舊里丁令成之詞丁雄詩

都良香

迎新儀陶安公之駕在眼

飢龍性躁忘乳老鶴心閑緩緩眠

川漢を鷺飛花夏和風漫人不繼彈 順二
わかのうらにしほみちくまはかたをすみ
あしへとゆしてたちなきわたる 赤人
れかそこのしまこゆるあつのさしなく
おきふこゝろのありなるかゆ 伊勢
わさろうをふけ井のうしにあらそうの
なとりくも井りくしらへき 清正

猿

瑤臺霜滿一聲之玄鶴喉天 謝觀
巴渡秋源不夜之哀猿叫月

江漢巴渡物成字猿也兼陽始所腸 白
三聲猿淚無鄉源一聲丹中載病鬼 白
胡鴈一聲秋破高客之夢 江澄明
猿三叫曉霜行人之裳 紀納言
人猿一種杖村候猿叫三聲晦渡源
晦渡羅源猿一叫叢林花落鳥先鳴 江相公
谷鶴飛岡山鳥語樹花斜踏渡猿聲 同

まひしらふましらふ〻をそあしひきの
屋まのうひあるかふやはあるね
管絃 付舞妓

一聲鳳笈秋驚秦嶺之雲數
拍霓裳曉望緱山之月
第一第二絃索〻秋風拂拂錦落
第三第四絃冷〻鶴懷子驚中鳴
第五絃琴瑟掩抑潺水凍咽流雲

隨分笈絃掌自是不關篇謠彼人知
於合燒下裁衣婦裾舊同心一斤毛
羅綺之為重衣姬無情不機婦
管絃之在長曲怒不關於作人
落梅出舊曆吹當打柳琴鞠拍
桐如蕃挑文君得掌佚篇中子細
こゝの者ゝ〇乃ゝ〇ゝ〇ゝ
いつまゝ乃をとりあつ〻うゝ〻ゝ

男桓
公乘億
音孝棟
上
中
上
上
惟宮親王
上
齊宮女郎

文詞 付き文

流詞拂悦右游畫衙鎖出源閑上底 陸士衡

浮藻連飆乃輸馬賜要徽深當也復

生文三千軸之金玉於龍門原 自

上古埋骨不埋名

言語巧偷鶯鶯古文事分得風氣 元稹

錦帳曉開雲母殿自珠秋寫雅璧 庾孝標

昨日山中之木力取諸己今日 篤茂

庭花之花詞懸於人

王朗八葉之孫擴徐蘆事之四事 順

江淹一時之友集范別駕之文

陳孔璋詞宛金宿馬相賦只陵雲 多敬

贈蔚新恩祝荷石雅麟之集世和 少言

いつとりのなきを世なりとはいふとなり

そとのことのくさわしかりしかし 讀人不知

酒

新豐海色清之時鶴鶴宣平 公乘億
世不許於幽閑 如鳳凰舞裏
爲建威將軍劉伯倫嗜酒 伯
酒德頌傳於世 唐太子爲
白不忘之嗜酒 伯從浅功濟之 後
臨風抄杜樹葉酒長年人 日

破魚如霜紫 淫和不見春
生計拋來詩 兒來取圓 白
葉能夜間 力勸浅當 唐 白
笑使榮勢無 夜破 在云 白
破宮氏之圖 宮時獨燈 江匡衡
酒氣和之氏 一 以來知洋 地
葉名之來 亂 何 合 自 江相公

酒旗下山村欲雨天　傾盃夕灵漢
橘相公
先帝正精有寺門　乾坤一轉龍
後中書王
悉風雲遶遠漢出天狐宮
發風
主勲　家景見境龍山宮
能宣
わりなくものおもひそいとわれたるかなもりけるそひてかぬらに枕そへて

山

伐家遠迴晴　暮海霜雲花影
賀蘭遂

猶憶堂前宜春都山家居山人
白
夜鐘眠宿月見時晴龍尾
都在中
紙扇擁来感藏雑衣相
後中書王
宿靜晩與林頂老禅深閑宿
以言
かのみしそやまはみさとをとりけりと
わさひけりのさそふそあはけりけり
忠岑
よそにのみおもひやるらむ
見わたせばまつのはしろきよしのやま
いくよつもれるゆきにかあるらん
兼盛

山水

泰山不讓土壤故能成其高河
海不厭細流故能成其深
巴猿一叫傷舟於明月逢之鳥
胡馬無歸失路於黃砂磧之裏
礙日蒼山青蔟之浸天秋水白花之
漁舟火彩寒燒浪雜絃若和遷山

山似屋風江似掌叩舷來往月明中
草木枝疎春風掘山祇之髮魚
鼈趍戲林外字河伯之民
韓康獨往之捷花藥如舊花
鬢每舟之泊煙波惟新
山後山何之削成青數之形外浪
水雅象深於碧潭之文

山部遠樹雲開雪海岸孤村日暮時 直幣
山來向窮斜陽裏水似迴流遠渡間 後江相公
神なひのとむろ山きしやまつ年
そうこの川 君の君にこれる

水 付漁父

魚塚に牧馬郷平沙野と 謝觀
行行に征帆數千年岸花と
河邊柱の柚花を河暖鷺鷥鋪眠

帆家高学漁郎を夜漁高樹裏行
水鋪漁業望春月無私掠入女湖裏 白
蘇蔓杉鶴長流鶴能永保和漁 杜荀鶴
黒居屋於雉人心居處に本を通 十八首
秋の日見お伊や又朱雲院に新歌也
垂鉤者ふ釣魚晴田浮梗ふ
梅掠者唯ゆ鶴を送 掠者に時

沙以刺市鶴遊事北巷撰去鶴度河 段江相公
日御波平秋書風以春堂 平作勢
かしと色てくるのうゑ見とたるあ
ちりくるとやさりとしつゝん
見るかゝ乃さゝ知くれハ君か代り
ゆくひとゝ知るかり川乃ミ山 好志

禁中

鳳池宮前新秋月詩歌以薄書山 白
秋月高懸元紫仙詩歌禁闈

三子仙人雅詩聽合元殿角笈雅 背孝樹
鶴人晴唱春雪明玉眠鳥 都良香
鐘聲鳴書激晴雲聽
鶴作日高冠報夜聲沙原夜聲花
見かきとり来しかく火よおく稱とも
まれもあくろ乃うらよとそ毎け 中務
あくりそれりりさやけきあれ乃月
雲のうへよそおりひやらる生 藤原經臣

古京

仙家 付為士 隠倫

壺中天地乾坤外夏裏秋花宜暮昏 元稹
藥鴨有火丹應伏雲雁無人水自春 白
山底探厳雲不厭洞中栽樹鶴先知 温庭筠
三壺雲浮七方里之程分渡不城 都良香
家詩十二樓之接挿天

奇大咲花落流於紅桃之浦
鷺風振葉雪分芒不桂之林
深入仙家雖為半日之客恐 後江相公
歸舊里繼名士世之孫
丹竈為成仙家鶴山中京為月花 菅三品
石床無洞嵐定松葉拋林為秋夢 同
桃李雲美或豊為煙霧無地為雉掃 同

[illegible]鳥邊一[illegible]晩[illegible]　同

南山[illegible]林[illegible]頂[illegible]揚[illegible]清　後江相公

[illegible]寒[illegible]石山[illegible]晩[illegible]孤　紀納言

通夏秋深[illegible]　菅三品

いつこにか世をはいとはむ[illegible]　素性

山家

遺愛寺鐘欹枕聴　香炉峰雪撥簾看　白

蘭省花時錦帳下　廬山雨夜草庵中　白

漁父晩船分浦釣　牧童寒笛倚牛吹　杜荀鶴

王尚書之蓮府麗則麗矣[illegible]　菅三品

紅粉之賓[illegible]中[illegible]之行[illegible]林[illegible]

幽烟[illegible]素論之士

南望則有関路之長行人征馬駱

駅[illegible]簾之下東顧亦有林塘　順

之妙紫鶯白鶴道を尋ぬ朱雀とお
山路日暮満耳老雄歌牧笛之聲 紀齊名
洞戸鳥歸虚眼者行煙松翠迷
花昌寛友学年紀洞裏稀家鶴山路 紀魏言
晴後書山陰隔を面初白水入門流 都良香
觸石春雲生枕上衙聲曉月起心中 直夢
山室ハものさひしからこそあれ
ものうきよりハまさよ来りけ事 讀人知

山さとは春のそはしさぬさらけ
人めも草もりもぬとおもへも 宗平

田家

若狹線以抽子榴青蘿蔔
鳥影一犬逐人吠牧聲牛犢休 都良香
聖教印内桑葉落山曜甲月榴花風 紀齊名
蕎麥村風吹笛鶯蕉深月掃花徑 高相如
もろの田を人りまかせてもれさぬ
とりなりこころとつくるこころなる

時をきはさるへをいてくれいねへし
あ免りも毎こハさいてけりきる
きめふそさるへとるしかいけのまに
いかなくそよきてわきりをのつく

貫之

敏行

陳家

明月好同三徑來孫楊宜作西家玉
の楊柳分數枝子孫也作陳諸人
池邊分果先伊人中唐陳法當上流
落枕波夢寒夢當鄉公西家玉

白

同

菅三品

同

春煙遠繞簷前色曉浪潛分枯[illegible]
きりやとわり屋とくるかのさつ
うつろもぬまふこひ人りり非

直幹

伊勢

山寺

千株杉下夢岑寺一葉舟中万里身
更無俗物當人眼但有泉聲洗我心
不改朝天之門便作求車之志愛
閑水之橋以為[illegible]岑之金

白

野相公

策馬来旹只思風穩之可貌 源英明
登僧禅受衡覚世俗之皆見
人鷲洛寧雲出地覚詩門趣有登 菅丞相
三千世界眼前要十二因縁心裏宣 都良香
泉龍西洗声聞夏葉落風吹通桐林 高相如
山てらのいりあひのか孫君と思ことを耳
今ふもくれぬときくそまひし
おのりとをまえかれとをれハとのりから
なかみかひとりなりぬへきかな 花山院

佛事

月隠重山考聲扉喩之風息 智者大師
大君考動樹教之
願以今生世俗文字東狂言綺 白
説之誤龍為尚来世讃仙
乗因縛法輪之縁
百千万劫業提槌八十二年功練来 白

十方佛ちの中以西方為望
九品蓮臺之間雖下品莫足
雖十惡弓相引攝甚於疾風
披雲霧淫一念弓必感應
喩之巨海之網消露
昔切利夫之安居九十日刻
亦梅檀而撲鶯者今臨挽河

之城度三千年漁家金礼安足
浪洗無消鞭行馬而不顧雨
打易破鬪芥鶴而長忘
念極樂之鶯一夜山月正無先
句出之会三朝洞花欲落
聖聲恩經管奏調衣僧代綺羅人
眼蓮堂書清涼水面月長萬千又天

以佛神通重弱者經傳祇劫能知家
以言セント
叩漆負柔寒省月松相捨者蓋竟
呆胤
已終未當年役初得非達一乘又
同
いつかと君なりとおもひしわるなとは
のるもれさ見なりそなふハほとつる
村上御製
あくらくハさろあるきかとくきくしり也
はとゝ見ていてるをとろなりなる
空也上人
てのよふにくなるいのるをとう無つまは
とゝ見んかひかへきなりとそなりある
九條左相府
何のくゝあるこゝやくこなるいの佛たら
わかるそまに加わるをなるへ
傳教大師

僧

蓋花霧雨之春初寒汀鷺立重
夏煙嵐之所寒晩寺僧歸
野寺訪僧過帝月芳林松乃宮辭眠
英明
雲有母儀望此遥宙お中天之月
宋胤
室有師迹望此遥息お不基之雲
野相公
明鏡を開清境照白雲不着不出來

親宮淨俗爲月之老高僧首剃鬢
鶴閑翅刷千年雪僧老眉共八字和
そらちはなれまとくしをむつこれ
まかくろうをなてもやありまん
よの中ふうしのくらさ乃なかり勢
れもひ乃いへをいくくいてまし
ミまかはのきよれなりまうまうしてし
いかなをしらまくやあらう年

遍照

讀人不知

孟賀

閑居

不獨記東都履道里有閑居恭

適之波志令知皇唐大和歳
理在安樂之育

宮車一去梅基之十二長空

張讀

隙駒難追綺羅之三千暗老

白

幽思不窮源巻二無人之處慈猶

白

無所閑意有月之時

鶴籠開處人春子書巻展對故人

人間榮耀問孫淺林下幽閑氣味深
官金自已心長別世事從今口不言（白）
蕙帯蘿衣抽簪於北山之小蘭（江相公）
梳桂檝敷舷於東海之東
都府楊絲着風色親鶯呂猶鶯（管丞相）
晦訟未拖菅俾門遮喧於阿衍寒風（平佐時）
海門訟絶春朝雨無暇天寒秋夜霜（以言）

わらやとはみらをなきまくあまくなり
つまなかの人とまつと勢しまふ（遍照）

眺望

風龍白浪花子斤鷹鷲天字一行（白）
出山不圍西東望山巻半掃雲根晴（尊敬）
躋琴巖西顧家鄉東行煙樹之深
見天台山之高峯數軍又尺波白望（順）
長安城之遠樹百子万葉芳東（下）

江霞隔浦人煙遠湖水連天鴈飛盡
一行斜鴈雲端越二月餘花野外飛
老眼易迷殘面皮春情難聚少陽
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

餞別

与君後會知何處為我今朝發一盃
前金祖堂延恩於鴈山之舊雲
後會朝登霞浪繼於鳴膽之曉深
蜀聚丹鳥競寸陰於十年之間
今信盃能言分手於三百盃之後
楊波路滑我之定人多年未忘
彼高人之送我何日
万里東來何事一生西望是玉樓
九枝燒發唯鈞曉一案毋死不窮杖

欲浮生期後會堂照石火風散
だとひやうてろとりハさいしを
なかなてろらんとのしを
そしてこれをかのまかれをあれとを
人りとくるく人そしてしかり
いのちゆりこてろまりふをかるは
なにかわれのうなしうへ 白目

行掛

孤館宿時風雪夜水上雲 許渾
行を室ひ明年渡を曉を不重 順
時を後時を風浦を蕭蕭程深
曉入長松を洞教泉咽を巖樵 藤為雅
夜宿橋浦を波を風吹を皓
月光

渡口部 私風宣出波頭謠和日晴看 理相
海蕩夜無化宮海岸柳秋風雪宮晴 直勝
蕭波謠堂雲雲雪蕩夢山深鳥一聲 同

なのくとあしれたりあさこさらもうし
しまくゝ思ゆくらみをしそあふ 人丸
まこのとらやそしまかまくこさかねね
人なはつけよあさ君けりふみ 菅王
たらもあらはいそこやこへつけやら葬
なつしらかのせきハあえぬと 兼盛

庚申

年長毎労推男子和光初尋庚申 許渾
二月半終冬日少庚申和光曉光至 菅レ
たきなかのえけかつなきけりなれハ
わきやきれたりけるとやされなり

いかにをとひとりをとりんあやしまを
れをとゝねなかのえさるなましきを

帝王

漢高三尺之劍坐創諸侯張臥 後漢書丈カ
一巻之書立光師傅
頃庄之會鶴門寄情於一座家 同
漢祖之歸沛新傷恩於罵風
四海安老照雲間百王理亂急心中 白

幸逢堯舜無為化得化犧皇而文
聖皇自在也生殿不向堂基無敬
仁流秋津洲之外惠茂執政之法
紀淑望
測度作淵之夢寐之間日秋長為
叢之碩津之滿耳
梁元首接春王之月漸落周穆
菅三品
新長西母之雲欲歸

帝政之庭風流未必歇有落圓
蓋之老此地也好文之世德化未必
光于黃黃蓋之老我君也
榮祐朝之歌三樂未必和鳴之門
後江相公
皇甫謐之述皇王之臨法王之
玉宸日臨文風見紀旗風雲畫誰揚
藤原アカル
刑鞭蒲朽螢雪去諫鼓苦深鳴雪
江相公

たまかとろまさくやこのくもかゆこそり
いさはとろへとけくやこのもと　大鶴鶴天皇
ちりぬまてしまくらふかとろはさねぬ　小松天皇
よとせのくちはあとのまむ

親王　付王孫

庫車牧畢貴主毒殺細馬莫敷卯　白
東平蒼之雅量寧非漢室靡也　菅三品
發之弟子桂陽鑠之文譚忘是齊
帝寵愛弟八之道

江都之好勁擬也七尺風甚清高
淮南之求神仙也一旦乘雲而登　保胤
開卷已知爲子道秋風悵望斷湖也
我王孝行先何如楊柚秋風一斤糧　菅雅規
古山茶雅是人間稀瓊樹枝頭第一花　後江相公
世毛帆是人間桂再來君平基一斤數　菅三品
いかれ来やとりんのとりはのこしはこら　達ナ
ヨかれなきのこしかハまりとれ

蓋相 付執政

季文子妾不敢帛無人以爲美談（後漢書ト）
二孫弘身狼常被以疏賤之多詐
百里奚乞食於道路穆公委以政
寗戚飼牛於車下桓公任以國
孫弘問富無國者傅說舟忙不得人
西京席門乃先陳出相之雅四宅（後江相公ナリ）

南山芝間寧忙蒼司馳之出栖
周王且若文王之子武王之弟自（菅三品ニ）
知其貴忠仁者皇帝之祖
皇后之父世推其仁
傅氏敬之聞雖風雲於敬愛故
叡陵淑之水猶湮渭於漢狩之初
春遊夏閑蒼司馳之家君在諸生（同シツ）

且南蕃北鄭を尉之演說人公
やまさくらあくさそ多をとこけるか仲
けふちらへくもりせあらぬまゝに 兼盛

將軍

三尺劍光珠在手一張弓勢月當心
雪中放鴈朝約束雲外吟鳴夜材色
千里征來征馬疲十年離別故人楊 許渾
酌山雲暗雪將軍之在家顏水浪 菅三品

閑羹征虜之未仕
織列帛乎淮拉武勇お漢宮七將
學抽麟角遂味之素お蕃二十蕃
雄劍在腰援則杖霜三十人雌黃 順
自口吟示寒玉一聲
勢鳴劍新淨逃死馬思衣為驚人 都良香
きまくしあふことをわくぬ元ゝ勇を
おけるゝやハこむしおりひし 公忠

判史

古如筆可宣月下比君手ニ称ス花の白
精明合浦珠和川明月昔鋼モ
隆三百年量絶ニ鳥ニ鳥ニ磨ス 保胤
此一夜包ハ千年ニ珠ス 佐藤堂ニ紀明
たゞ我屋りのかりそみまはたゞ
さこのかさしはあさりひよかり 仁徳天皇

諏史

於晴春の庭民淡春深四面花ニ可色 橘相公
寒府牡丹雲林繁花 紀在昌
佳夢遠悲秦席宮書法物論漫說 紀納言
かそいろいかりわたれとおしとふらん
みしをうなりぬあしたあしし 朝江

王昭君

秋春辛勤非將發和と卯ニ以ニ畫屬中 白
化ニ子ニ為ニ胡ニ枯骨ニ無ニ面ニ定ニ化ニ漫ニ花ニ 紀納言

[illegible]白山之清光 菅
夜日[illegible]初見人家[illegible]
[illegible]人[illegible]流 同
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 後江相公

欽究今日新[illegible] 後江相公
あまつかせくものかよひちふきとちよ
をとめのすかたしはしとゝめむ 良岑宗貞

妓女

[illegible]水[illegible]妓女佩[illegible] 賀蘭遂
[illegible]園[illegible] 以言ナリト
舞中[illegible]上一生歌[illegible]
[illegible]

老人

海をかこそそこゝろ郭よむかひのそみ時よりて
あらねたきなよあふらしれ
いけくりの身をはよせましよの中
おいといてもねたしなけきハ

爲頼

交友

琴詩酒友皆抛我雪月花時獨憶君
陽春西園雅和深水交情老始知
萬年願我書眼今日逢君二百頭

計渾

蘭舍鶯之遊古廟託締実代交

江相公

張僕射之重新才推爲忘年之友
鶯文藉以同君人管礼郭弘周我戦

菅馬茂

えしりきいかゝることとちさうもあ年
むりしのせようあらまなりしけき
たきとりもしる人よき年たりさこの
よりをむりしれともなくなり

村上御製

奥風

懷舊

黄壚誰知我白頭獨憶君唯
將老年深一瀑故人文

白

長安若少者残年幾何　同

秋風満洛衆下故人多

[illegible]

[illegible]　白

金谷酔花之地、花毎春匂而主不帰。南楼翫月之人、月与秋期而身何去。　菅三品

王子晋之昇仙、後人立祠於緱嶺之月。羊太傅之早世、行客墜涙於峴山之雲。　源相規

従[illegible]木之揺落竟耳掌前之窮　野美材

いにしへの野中のしみつぬるけれと もとのこゝろをしる人そくむ

むかしをはかゝりしとてこひしくはいつこそこそ あやしものふとおもひつるか　村上御製

よの中にあらましかはとおもふ人 なきかおほくもなりにけるかな　為頼

述懐

書諸荊卿之幾激使生豫子之
投死心為恩使命沈幾理
范蠻收責句踐棄扁舟於又湖
答祀謝罪文之逸巡於河上
叛其磧礫不親玉渕者不知
孫孫不播習其弊邑不視上
邦者未知英雄之所隱

人間禍福愚難行世上風波老不禁
車前蹊病駕強逸棄上鷹鷂鷙
事無成身老辟卿不生欲何歸
范蠻收責捍扁舟安地名謝安諱
功伏弧雲向昔志
昇殿先象外之登迺俗骨不
以踏蓬萊之雲尚書之天下之

回也窮居兮以樂其室閒ス月
於是駐駕道三代而猶似昔同伯 橘正通
寄歌人嘆而將去
言下晴生背欠髮命倫説封人刀 春道
戴冕一車何巡苦撫恆三渡未為晃 前中書王
登三宮雖終何曽同猶笑飢寒敢賢 橘俊宗
すふとして舟のいろよおいかり舟
たしの柯もりんしとも庭さしき 讀人不知

よの中ハしそこもゆくてもたおのしきすり
こやとわ庭もとそしきけき八 蝉丸
そのそとりゑゆくくこゆくよのまりよ
とうやおしくもをめつ月りる 藤原高光

帝王

劍佩曉趨金闕風搖玉響着一儼然
幾墟書圍三千里一道風光任意看 白
然後何南諸定國君翻陵望頭多 章孝標
吏部侍郎識得中書帳禍出世微文 正通 ヨリ同

り文見ヲ月ヲ絶ルニ至ル雲ヲ猶ヲ待ツ秀ヲ白
春風桃李花開日杜鵑花桐葉落時ル同
名殿堂花田作絃妹桃夢未能眠ハ同ル
面瓶心寫雅付寒溫於林鳥來雨ニテ
流水寄膳於曉月ニ 後江相公
ゆゑ園中花紫鬢若許杖藜 紀齊名
寒園楊柳無春雨 桑芝

貞安陵雲峰岸分霧如撫堂獨自電
わゝ意ハゆく来をしらんとてもなし
あふをかきりとおもふとなりぬ
だ乃えつこゝぬよあまたよまりぬまた 躬恒
まさしとおもふをさらまゝれの 人丸
いさうをいひしなりつゝ我
ありけを乃月をまちいてつゝかな 素性

無常

觀花落鶯雜相樂論泣泣雜家 羅維口
鳴牛角上雪泣泣石火中寄此身 白

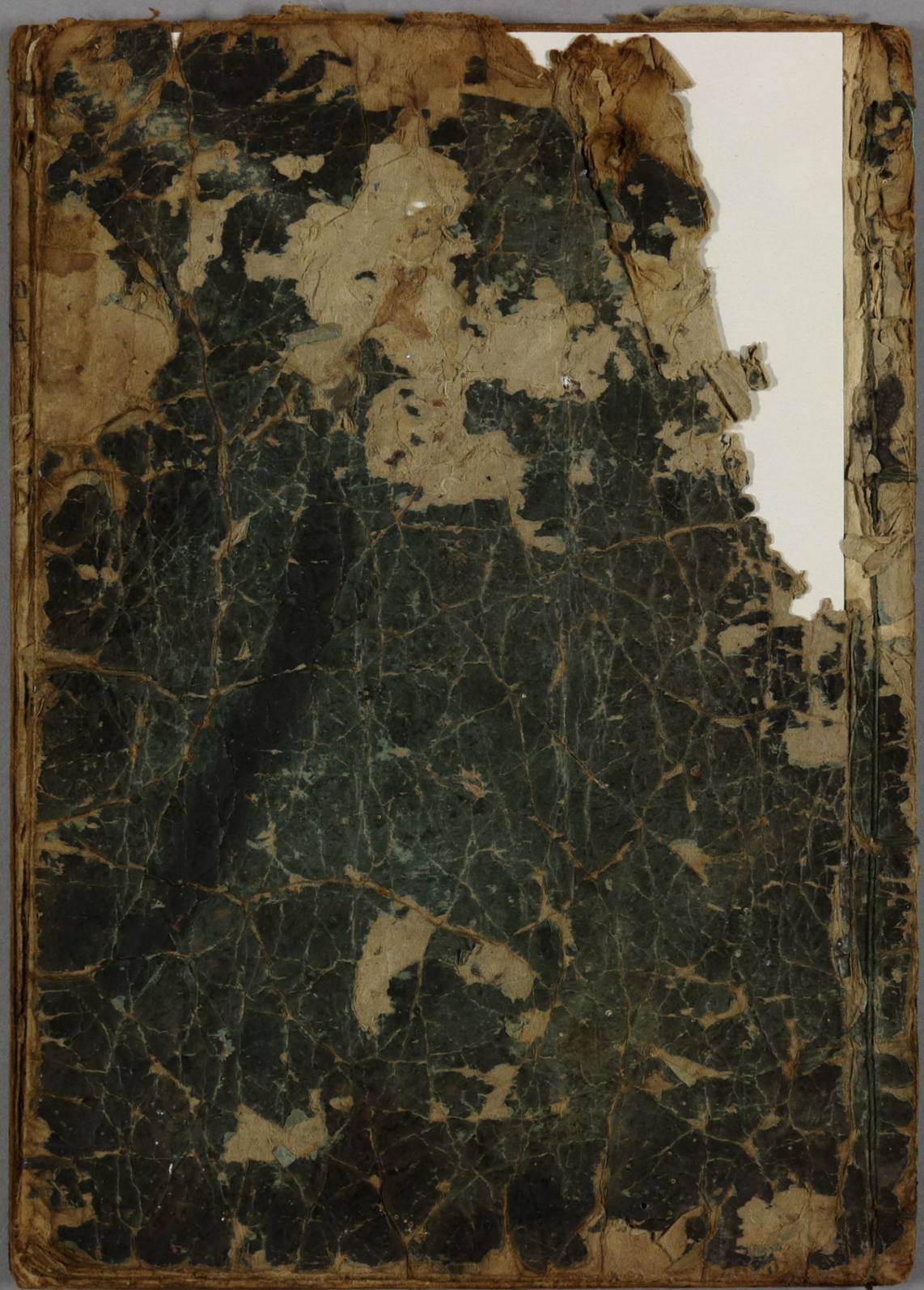
[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆきかきまけくむめの花ある

和漢朗詠集巻之下

貞享元甲子歳長月右貝武藤[illegible]

文臺屋宇平求板